

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18048	2	前期	必修	1	15
授業科目名 (英文)	キャリア教育Ⅱ (Career EducationⅡ)				
担当教員名	○佐々木美奈子/山本由加里/渡會睦子/ 林世津子/槌谷亜希子/橋元千久佐				
授業の概要及び到達目標					
<p>授業の概要</p> <p>看護専門職の責務とそれを果たすために必要な力について、自己の実践に活かせるよう、具体的に理解することを目的とする。</p> <p>看護職というキャリアについて、専門職要件の一つである倫理綱領を通して理解する。また、倫理的ジレンマを含む事例についてグループディスカッションを通して学ぶことにより、多様な考え方を理解し、整理・検討する力をつける。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倫理とは何かを説明できる</li> <li>・ 「看護者の倫理綱領」の内容を説明できる</li> <li>・ 倫理的ジレンマを含む事例について、四分割法および医療倫理の四原則の枠組みに沿って問題を整理し、さまざまな視点から議論することができる</li> <li>・ 看護倫理について考え続けていくことの意味、必要性について、自分なりの意見を述べることができる</li> </ul>					
準備学習等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回授業までに、(公社)日本看護協会ホームページから「看護者の倫理綱領」をダウンロードし、熟読してくること。(2時間程度)</li> <li>・ 毎回の授業の復習を十分に行い、指定された課題を行うこと。(各回1時間程度)</li> <li>・ 第6回目で、第7-8回で行うグループワークで使用する事例を提示する。事前によく読み込み、指定された課題を行うこと。(4時間程度)</li> <li>・ 第8回授業後に最終レポートを仕上げ、提出すること。最終レポート課題は授業の中で提示する。(4時間程度)</li> <li>・ 定期試験期間に試験を実施する。</li> </ul>					
成績評価の方法	個人課題(最終レポートを含む) 30% グループワークの成果物 20% 筆記試験 50% の割合で総合的に評価する。				
テキスト	看護者の倫理綱領(公益社団法人 日本看護協会、2003) <a href="https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/rinri/code_of_ethics.pdf">https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/rinri/code_of_ethics.pdf</a>				

参考図書	<p>「医療倫理学の ABC, 第 3 版」(井部俊子監修、服部健司・伊東隆雄編著:メヂカルフレンド社)</p> <p>「医療倫理学の方法:原則・ナラティブ・手順, 第 3 版」(宮坂道夫著:医学書院)</p> <p>「看護実践の倫理:倫理的意思決定のためのガイド, 第 3 版」(サラ・T・フライ、メガン・ジェーン・ジョンストン著:日本看護協会出版会) ※</p> <p>「看護学生のための医療倫理」(盛永審一郎・長島隆編:丸善出版) ※</p> <p>「入門・医療倫理 I [改訂版]」(赤林朗編:勁草書房)</p> <p>「入門・医療倫理 II」(赤林朗編:勁草書房)</p> <p>「看護職のための自己学習テキスト」(社団法人日本看護協会)</p> <p><a href="http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/rinri/text/index.html">http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/rinri/text/index.html</a></p> <p>「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」(厚生労働省)</p> <p><a href="https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10802000-Iseikyoku-Shidouka/0000197701.pdf">https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10802000-Iseikyoku-Shidouka/0000197701.pdf</a></p> <p>「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」解説編(厚生労働省)</p> <p><a href="https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10802000-Iseikyoku-Shidouka/0000197702.pdf">https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10802000-Iseikyoku-Shidouka/0000197702.pdf</a></p>
備考	<p>本科目の学習内容は「キャリア教育 I」での学びを発展させたものである。</p> <p>第 1 回～第 5 回の授業で行うワークシートは、授業後に提出を求め、次回の授業でフィードバックを行う</p> <p>第 6 回～第 8 回の授業で行うグループワーク課題については、授業内でフィードバックを行う</p> <p>各教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項に示す。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図で確認すること。</p>
授 業 計 画	
<p>第 1 回:看護倫理概論(倫理とは何か、倫理を学ぶ必要性、看護者の倫理綱領)(山本・林)</p> <p>第 2 回:医療倫理の四原則(自律尊重原則、無危害原則、善行原則、正義原則)(山本・樋谷)</p> <p>第 3 回:守秘義務(山本・橋元)</p> <p>第 4 回:インフォームド・コンセントと意思決定支援①(山本・佐々木)</p> <p>第 5 回:インフォームド・コンセントと意思決定支援②(山本・渡會)</p> <p>第 6 回:医療資源の配分(山本・佐々木)</p> <p style="text-align: center;">グループワークの進め方、検討する事例の説明と質疑応答(山本・佐々木)</p> <p>第 7 回:臨床倫理問題の検討①(グループワーク)(全教員)</p> <p>第 8 回:臨床倫理問題の検討②(グループワーク)(全教員)</p>	